

平成 29 年度町政懇談会記録（要旨）

開催日：平成 29 年 9 月 26 日（火）

開会：午後 7 時 00 分 閉会：午後 8 時 00 分

場所：鳥取集落センター

参加者：男 19 人、女 6 人 計 25 人（うち職員 4 人）

町職員：町長、副町長、建設部参事、上下水道課長、建設課長、政策課員

○懇談

男性（1） 道路（多度東員線）について、これまで、県道なので町ではなかなか難しいということで、あまりいい返事をいただけなかったんですが、今お話聞かせていただいて、ちょっと芽が出てきたということによりよろしくお願いします。

男性（2） 平成 8 年くらいに設計のしなおしで一回説明に来てもらったと思うんだけど。

建設課長 以前に立会いをしてもらっているというのは聞いており、どちら側に広げるとかそういう大まかなことは決まっているんですが、ガードレールをつけるのかなど細かいことについては決めておらず、細かい設計を含めたものを今後していくということだと思います。

町長 恐らく今までやられているのは基本設計で、今度は実施設計できちんとしたものをやるということだと思います。細かいところは県道ですので、我々が分からない部分もあります。我々も何十年前から要望を出していて、やっとこれから動き出しそうな雰囲気になってきました。県にはこれからも強く要望していきたいと思います。

男性（3） 二点お伺いします。一つは住所の関係で、三重県員弁郡東員町ですよ。今カーナビなんかでは員弁郡というのがなくなっているんですよ。三重県からいきなり東員町がでてきます。郡には行政機関がないんだから、東員町ひとつだけになったから員弁郡をなめる必要がないと思うんです。郵便番号でも 511-0241 だと東員町鳥取まで入るんです。郵便番号と地番だけ書いたら家に郵便物は届くんです。なぜ、三重県東員町ではいけないのか。法的根拠がなにかあるのか。

もう一点は、先日印鑑証明書を取りに役場にいったんですが、前まで交付機ありましたよね、今は更新の費用が高いいので更新せずに廃止したと聞きました。窓口で申請書を書いて出したら、印鑑証明のカードを出してくださいというわけ。機械なくなっているからもってないよね。結局家に帰って持ってきたんですが、あれは明らかに住民サービスの低下ですよ。カードが必要なら交付機を置いてほしいし、窓口で申請するなら窓口でカードは必要ないというようなことにはできないのか。

町長

まず員弁郡については、ほとんど誰も分からないと思うので、ちょっと調べます。それから、住民票や印鑑証明は、マイナンバーカードを作っただけであれば、コンビニで取得できるようになります。コンビニは全国どこでもありますので、そちらの方が便利だからそちらに変えていこうということになりました。話にでてきた交付機は、実は耐用年数は1年位前にきれているんです。今年からコンビニ交付をするということで1年もたせました。行政としては、コンビニ交付が始まりましたので、マイナンバーカードを取得していただき、そちらをご利用いただきたい。マイナンバーカードを使えば、印鑑登録カードもいりません。役場の窓口と料金も一緒です。マイナンバーカードを持っている方は便利になった、持っていない方は不便になったというようなことを言われています。国は、これから全ての国民がマイナンバーカードを取得するように進めていきますので、町としても交付機の更新よりもマイナンバーカードでのコンビニ取得にお金をかけさせていただきました。ただ、窓口で印鑑登録カードが必要というのは私も不思議だなと思います。

男性（3）

窓口でカードが必要だというなら、カードだけでいいと思うんです。わざわざ申請書を書く必要がないと思うんです。逆に申請書を書くなら、カードはいらないと思うんです。だから、窓口でカードを出したら申請書を書かなくても出してもらおうか、申請書を書いたらカードがなくても出せるようにしてもらいたい。

町長

法律で規定があるかもしれませんので、ちょっと調べて検討させていただきます。町だけの問題ならできると思います。

副町長

ちょっとご意見がないみたいなので、町長がお話した新しい農業について建設部参事の方からももう少し詳しくお話ししたいと思います。

建設部参事

町長からもお話がありましたが、現在東員町には空いている土地がほとんどありません。これから東員町が持続的な発展をしていくために、何が必要かいろいろ考えていたのですが、地元にある700haにおよぶ農地、これが財産であると考えました。現在この700haの土地は、3億7千万円しか稼いでいません。一反あたりで考えますと5万3千円ほどしか稼いでいない農業が長年行われていて、未だに変わろうとしていません。この700haの農地を上手く活用していかなければ、持続的な発展はないだろうと、今年から農地の活用ということで新産業創造プロジェクトチームができました。

いきなり水田活用農業から施設栽培農業へ変えていくのは、なかなか難しいことかと思えます。少しずつでも複合経営というかたちで、野菜や果物などに取り組んでいただける農家を育ててくというのが一つの狙いです。それから、水田農業は儲けがかなり薄く、若者にとって農業をなかなか産業にできないという現実があります。現

在東員町には 29 の担い手農家がありますが、ほとんど跡取りがいません。近い将来の、農地の維持すら難しい状況であります。そんな中で水田農業でもお金が儲かるような仕組みづくりを考えていくということで、減反政策絡みではございますが、現在東員町では大豆が 150 h a 作付けが行われています。しかしながら、収穫量が全国平均の三分の一にも満たない状況でありまして、これを全国平均にするだけでもかなりの収益があります。四日市市に大豆を丸ごと使った製品を作られている事業者がありまして、ここの豆腐は特殊な機械を使いまして全くおからの出ない豆腐、栄養が丸ごとつまった豆腐です。この事業者は国内だけでなく、国外へも進出しているところで、現在のこの事業者と東員町に移転していただけないか協議を進めているところです。農業で生産性を高めることで必ず雇用が生まれます。そんななかで、高齢者の方、子育てをおえた女性の方、あるいは障がいをお持ちの方の就労の拡大を目指し、これから儲かる農業、農業を核としたまちづくりに町をあげて取り組んでいきますので、どうかよろしくお願いたします。

・懇談による意見

1. 県道について
2. 員弁郡はいるのか
3. 印鑑登録カードについて